

講義名	日本語総合 A			授業形態	
担当教員	石橋 明子	開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生
				ナンバリング・コード	JPN100
主題と概要					
大学生活を送るために必要な基礎的な日本語能力を身につける。この授業では、日本語の文法項目について、基本的なものから日本語能力試験上級レベルのものに至るまで、幅広く意味や使い方を学ぶ。また、学習した文法が実際に使えるよう運用力も身につける。					
到達目標					
・授業で扱った文法項目の理解にとどまらず、運用能力を身につけ、日常生活でのコミュニケーションや大学での学習に対応できるようになる。 ・様々な場面において、日本語で自分の意見を伝えたり、課題を解決したりすることができるようになる。					
提出課題					
授業内で学習した文法項目について、短文文等の課題を出す。課題は授業の内容によって異なる。					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
宿題や授業内で行った小テストは、添削して返却する。また、誤りの多かったものに関しては、授業内で解説を行う。					
評価の基準					
課題提出（20％）、授業への参加度（20％）、復習確認問題（30％）、理解度確認問題（30％）などをもとに、総合的に判断する。					
履修にあたっての注意・助言他					
毎回の授業で出席をとる。欠席が1/3を超える学生は単位を与えることができないので、注意すること。 授業中は、私語を慎み、積極的な参加を望む。					
教科書					
.使用しない。					
参考図書					
.改訂版どんなときどう使う 日本語表現文型 5 0 0 .					
友松 悦子、宮本 淳、和栗 雅子		アルク	2500	9784757418905	

その他		
プリント資料等は必要に応じて配布する。		
授業計画		
第 1 回 授業の説明（授業の進め方、スケジュール、評価の方法、注意事項）、小テスト 予習内容：シラバスを熟読しておくこと(90分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(150分)		
第 2 回 行為の対象 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 3 回 目的・手段・媒介 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 4 回 起点・終点・開界・範囲 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 5 回 時点・場面 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 6 回 信仰・相関関係 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 7 回 付帯・非付帯 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 8 回 学習前半の確認、復習確認問題 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 9 回 限定・非限定・付加 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 0 回 比較・程度・対比 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 1 回 判断の立場・評価の視点 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 2 回 判断の立場・評価の視点 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 3 回 基準 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 4 回 関連・対応 予習内容：新出語彙・表現・漢字を調べる(120分) 復習内容：授業の中で説明した事柄や場面をふまえ、自分で文を作成する(120分)		
第 1 5 回 期末の理解度確認問題		
授業形態（アクティブ・ラーニング）		
○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A 1 型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連		
留学生を対象とした科目群で、日本語の文法について実用的かつ基礎的な語学力を修得するとともに、課題発見・課題解決に必要な情報を見定め、適切な手段を用いて収集・整理し、解決できる人材を育成する科目である。		
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述		
実務経験の有無及び活用		
備考		